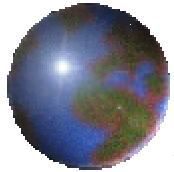


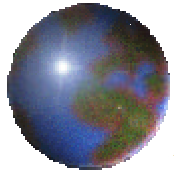
ICANNケープタウン会合 政府諮問委員会報告 (2004. 11. 29-12.2)

2005年 1月 26日
総務省データ通信課
インターネット戦略企画室
三吉 卓也



目次

	頁
1. 政府諮問委員会 地域フォーラム	3
2. 新メンバー参加とGAC体制	5
3. ICANN理事会との関係	6
4. g T L D 政策	7
5. c c T L D 政策	8
6. その他	9



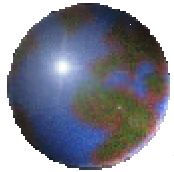
1. 政府諮問委員会 地域フォーラム

目的：

- 1) 政府諮問委員会(GAC :Governmental Advisory Committee)
(現在約 100メンバーが加盟)に初参加又は未加盟の政府関係者を
主たる対象として ICANN及びGACに関するオリエンテーションを実施
- 2) 開催地域において関心の高い話題に関する情報提供及び意見交換
を実施
(このフォーラムは公開で行われ、民間関係者を含め広く参加が可能)

プログラム

- 1.チュートリアル ICANN及びGACの紹介
- 2.ワークショップ



1. 政府諮問委員会 地域フォーラム

ワークショップ

1 .ccTLDの委任と管理

- ccTLDの委任と管理に関する原則、ケーススタディ

2 .IXと経済発展

- ケーススタディ(ヨーロッパ :LINX、ラテンアメリカ :NAPLA、西アフリカ :ISPKenya)

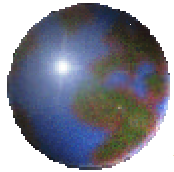
3 .IPv6

ワークショップの結果を受けてコミュニケに次のように記述

“In light of the discussion in the Regional Forum and recognizing the current deployment status of IPv6 and its merits, including expanded address space, improved security, end-to-end communication, etc., GAC continues to support and encourage ICANN’s efforts towards the deployment of IPv6”

4 .AfriNIC

(資料URL : http://194.78.218.67/web/Regional_Forums/mtg20/index.shtml)



2. 新メンバー参加とGAC体制

(1) メンバー構成

現在、GACメンバーは97、オブザーバーとして代表を出している国際機関が9、計106 (今回出席したメンバーは38)。

クアラルンプール会合以降、フィジー、パキスタン、タンザニア、トルコがGACに加盟。

(2) 議長 副議長改選

・GACでは、議長 1、副議長 3のポストを規定。

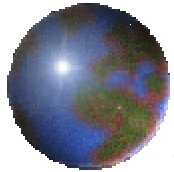
・今回会合に先立ち、オンラインで改選作業を実施。その結果以下のように決定 (正式発表は次回マル・デル・プラタ会合時)。

議長 : Mohamed Sharil Tarmizi マレーシア

副議長 : Luis Pablo Hinojosa メキシコ

Stefano Trumpy イタリア

(1名欠員)



3. ICANN理事会との関係

・ICANN 理事会とのミーティング (公開)

戦略プラン、ccTLD委任の現況、ASOの結成、W IPO 勧告の実施、新gTLDの選定及び創設について ICANNから説明

(ccTLD再委任時に発生する問題については地域フォーラムにおいてより詳細に説明あり)

(URL : http://194.78.218.67/web/Regional_Forums/mtg20/ICANN_Redelegation_ccTLDs.ppt)

・ICANN CEO からGAC議長宛のレター

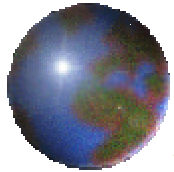
(URL : <http://194.78.218.67/web/meetings/mtg20/twomey-to-tarmizi-01dec04.pdf>)

1. 以下の事項についてGACからのインプットを期待

- 新gTLD導入ポリシー
- IDN
- WHOISポリシー
- W IPO
- ASO MoU

2. GACとICANNスタッフの連携の密接化を提案

3. ICANNにおける最近の動向を紹介



4. gTLD政策

Whois、新 gTLD導入等、gTLDに関連する公共政策課題を中心に議論。

◆GNSO理事会との対話

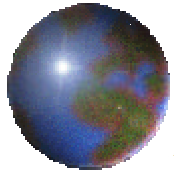
現在のWhoisタスクフォースの活動状況等について報告を受けるとともに、新gTLD導入に関して意見交換。今後も定期的に情報交換。

◆新gTLD導入

消費者の選択肢拡大、インターネットの安定性と安全性の確保その他の政策的観点から今後も注視。

◆Whois

個人情報保護、消費者保護や知的財産権保護の観点からの法執行上の必要性等、公共政策の観点からGAC内で継続して議論を実施。



5. ccTLD政策

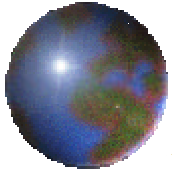
(1) GAC ccTLD原則の見直し

- ・ 昨年よりGACのワーキンググループを中心に見直しについて議論。
- ・ 今回の会合において改定案を決定し、公表。次回マル・デル・プラタ会合で採択の予定。

(URL : http://194.78.218.67/web/WG4_ccTLD_Dec_2004/cover.shtml)

(2) ccNSO との対話

- ・ GACとccNSOとが密な情報交換を行うため、GACとccNSOとが合同リエゾングループ(各5名)を設立。日本からも参加。
- ・ GACとccNSOの合同会議を開催し、以下のテーマについて情報及び意見の交換。
 - GACとccNSOのリエゾンの方法
 - ccTLD原則の改訂
 - アカウンタビリティ・フレームワーク
 - オランダ政府とccTLDの協力枠組



6. その他

1. ASOとの関係

(1) ASOとの対話

- ・ICANNとRR/NROとのMOUについて情報・意見交換。

(2) ASOとのリエゾン

- ・RRの構成にあわせて、各地域からリエゾンを選出（ブラジル、日本、オランダ、南アフリカ、米国）。

2. GACの将来体制とその財源

引き続き、他の国際的な枠組みを参考にしながら、参加国の多様性に配慮した柔軟な枠組みについて、Structure and Financing-WGにおいて継続して検討することとされた。

3. WSI/WGI

GAC議長から、ICANNに対するGACの役割及び活動の事実関係を記述したペーパーをWG Iに提出することとされた。